

合格証明書



神牛公式 WeChat アカウント

深圳市神牛摄影器材有限公司

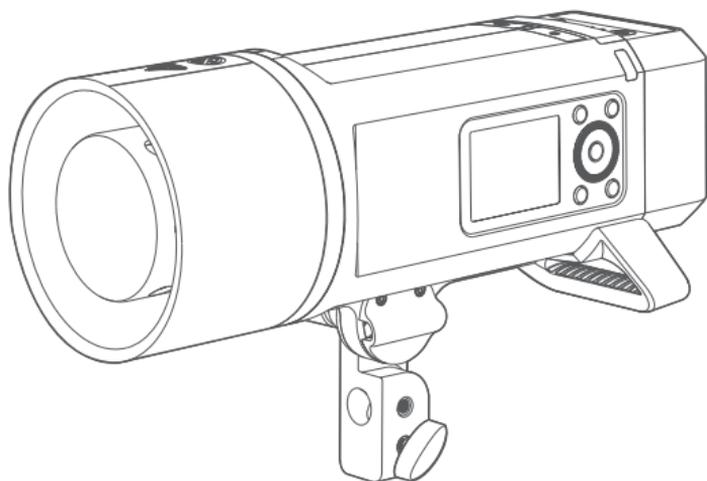
所在地：深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工業区工場 2 棟 電話：0755-29609320(8062)
FAX:0755-25723423 メールアドレス：godox@godox.com

www.godox.com

Made in China | 705-AD80P0-03



Godox



AD800Pro

オールインワン屋外用フラッシュ

取扱説明書

重要な安全説明

本製品はプロフェッショナル向け撮影機器であり、専門技術者による操作が必要です。使用の際は、以下の基本的な安全予防措置を必ず遵守してください。使用前に必ず製品に付属している全ての輸送保護材および包装を取り外してください。

1. 本製品を使用する前に、製品取扱説明書をよく読み、内容を完全に理解し、説明書に記載された安全指示を厳守して操作してください。これを怠ると、死亡、重篤な傷害、製品の損傷及びその他の財産被害を伴う安全上の危険が生じる恐れがあります。
2. ストロボ作動中は高電圧が存在し、電源を切った後も機器内部のコンデンサには一定時間電荷が残留します。
3. 本製品はプロフェッショナル向けの照明機器であり、子供の使用は禁止されています。子供が近づく場合は、成人が厳重に監督し、子供による照明機器の衝突や無断使用を防止し、人身事故の発生を防いでください。
4. 本機器は一般的な照明器具ではなく、通常の照明目的には使用しないでください。眼に損傷または過敏性のある方は、本機器の使用および直視を避けてください。
5. 使用時は十分に注意し、フラッシュ管およびその周辺の金属部品など高温の部分には絶対に触れないでください。火傷の恐れがあります。
6. いかなる場合でも、ストロボを直接人の目（特に乳幼児の目）に向けて照射することは禁止されています。短時間であっても視力障害を引き起こす可能性があります。眼に違和感を覚えた場合は直ちに電源を切り、使用を中止のうえ速やかに医療機関を受診してください。
7. フラッシュチューブが損傷した場合は、直ちに使用を中止し、速やかに製造元、サービス代理店または適格な修理技術者に連絡し、交換してください。事故の発生を防止するためです。
8. 損傷した機器や部品の使用は厳禁であり、専門の修理技術者による点検・修理および正常確認が完了するまで、使用を継続してはなりません。
9. フラッシュチューブ、保護ガラスまたはヒューズを交換する前に、必ず電源を切るか、バッテリー（装着されている場合）を取り外し、機器が完全に電源から遮断されていることを確認してください。ランプ管を交換する前に必ず 10 分間冷却させ、作業時には絶縁または耐熱手袋を着用してください。
10. フラッシュチューブのプラグを抜き差しする際は、必ず製品の電源を切ってください。プラグを差し込む際は、完全に差し込まれていることを必ず確認してください。
11. 使用中に製品が落下、圧迫、または強い衝撃を受けて外装が破損した場合は、直ちに使用を中止し、内部の電子部品に触れて感電しないようご注意ください。
12. 一部製品の電源コードは長いため、設置時には適切に配置し、熱源への接触や他者のつまずきを避けてください。純正電源コードの使用を推奨します。非純正コードによる損害は保証対象外となります。
13. 清掃およびメンテナンスを行う前に、必ず電源コンセントから本機の電源プラグを抜いて

ください。電源コードを無理に引っ張って抜かないでください。正しい方法は、両手でプラグの端部を確実に握って抜くことです。

14. 本機は防水設計ではありません。常に乾燥した状態を保ち、水やその他の液体に浸さないでください。通気性が良く乾燥した場所に設置し、雨天、多湿、ほこりの多い環境や過度の高温環境下での使用を避けてください。本機の上に物を置かないでください。また、液体が内部に流入しないようにし、事故や故障の原因を防いでください
15. 許可なく、本製品の分解や改造を行わないでください。製品に異常が発生した場合は、当社または当社認定の修理担当者による点検および修理を必ず受けてください。
16. 機器を保管する前に、十分に冷却されていることを確認し、電源コードを抜いたうえで機器バッグまたは通気性の良い乾燥した場所に保管してください。
17. 本機器をアルコール、ガソリン等の可燃性揮発性溶剤や、メタン、エタン等の気体の近くに設置しないでください。
18. 本機器は爆発の危険がある環境での使用および保管を禁止します。
19. 本機器の放熱口を覆うことを厳禁します!
20. 当社承認外の付属品の使用は火災、感電または人身傷害の原因となるため、絶対におやめください。
21. 本機器の清掃時は乾燥した柔らかい布で優しく拭いてください。湿った布の使用は機器の損傷を招く恐れがあります。
22. 一部製品には保護カバーが装着されていますが、使用前に必ず取り外してください。
23. 本取扱説明書は厳密な試験に基づいて作成されており、設計および仕様は予告なく変更される場合があります。弊社公式ウェブサイトへアクセスし、最新の電子版取扱説明書をご確認のうえ、製品の最新情報を入手してください。
24. 一部の製品には内蔵リチウムイオンバッテリーを搭載、専用充電器で充電のうえ、正しい操作手順に従い、規定の電圧および温度範囲内でご使用ください。
25. 一部の製品はリチウムイオンバッテリーによって駆動します。この種のリチウムイオンバッテリーは使用寿命が限られており、有効寿命は通常 300 ~ 500 回の完全な充放電サイクルです。使用頻度および期間の増加に伴い、最大蓄電容量は徐々に低下しますが、これは正常な現象です。バッテリーの状態を定期的に点検し、充電時間が著しく延びる、または持続時間が顕著に短くなった場合は、バッテリー交換をご検討ください。
26. 一部製品にはリチウムイオンバッテリーが搭載されており、その保管に関する推奨事項は以下の通りです：保管前にバッテリーを約 50% の電量に充放電してください。少なくとも 6 か月ごとにバッテリー電量を約 50% まで補充してください。長期間のメンテナンス充電を行わないと、過放電によりバッテリーの性能が永久に低下し、最悪の場合使用不能となる恐れがあります。着脱式バッテリーは個別に保管してください。保管温度は 0°C から 40°C の範囲内にしてください。
27. 一部製品はリチウムイオンバッテリーで電源供給を行っています。以下の点にご注意ください。

- バッテリーを分解、破損、貫通してはいけません。
 - バッテリーは防水機能を有していませんので、水や霧に浸さないでください。
 - バッテリーの端子をショートさせることを避けてください。
 - バッテリーを火気の近くに置かないでください。
 - バッテリーを 60°C 以上の高温にさらさないでください。
 - バッテリーはお子様の手の届かない場所に保管してください。
 - バッテリーに過度な衝撃や振動が加わらないようご注意ください。
 - 損傷したバッテリーは使用しないでください。
 - バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体に触れないようにしてください。
 - 万一、目にバッテリー液体が入った場合は、直ちに 15 分以上水で洗い流し、まぶたを上げた状態で液体がなくなるまで十分に洗浄してください。速やかに医師の診察を受けてください。
28. バッテリーを取り扱う前に、必ず現地の関連法令を確認し、遵守してください。
 29. 本機器の保証期間は 1 年間です。消耗品であるバッテリー、アダプター、電源コードなどの付属品は保証対象外です。
 30. 自己修理を行った場合、保証対象外となり修理費用が発生します。
 31. 不適切な操作による故障は保証対象外です。

警告

1. バッテリーの交換を誤ると爆発危険があります。必ず同一タイプまたは同等のバッテリーのみをご使用ください。交換は技術者により実施し、一般の方は行わないでください。また、製品およびバッテリーの分解は絶対にしないでください。
2. バッテリーは直射日光、火気、またはその他の過熱環境にさらさないでください。製品は雨に濡らしたり、水に入れたりしないでください。
3. 消費者が電源アダプターで充電を行う場合は、CCC 認証を取得し、基準を満たした対応の電源アダプターを購入して使用してください。
4. バッテリーの分解、衝撃、圧迫、火中投入を禁止します。著しい膨張が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。高温環境での保管は避けてください。水没した場合は使用しないでください。
5. 使用時は放熱性の良い場所に設置し、ベッドサイド、布団の上、包みの中など放熱しにくい環境での使用は避けてください。お子様の手が届かない場所でご使用ください、子供が使用する場合は必ず大人の指導の下でご利用ください。

目次

| | |
|-------------------------------|----|
| はじめに | 05 |
| 主な特長 | 06 |
| 部品名称 | 07 |
| 同梱品一覧 | 09 |
| 別売付属品 | 09 |
| リフレクター/フラッシュチューブの着脱 | 10 |
| ストロボ角度の調整 | 11 |
| バッテリーの着脱 | 12 |
| バッテリー残量表示 | 12 |
| バッテリーに関するご案内 | 13 |
| 電源のオン/オフ | 14 |
| TTL: 自動発光 | 14 |
| M: マニュアル発光 | 15 |
| Multi: マルチフラッシュ | 17 |
| ハイスピードシンクロ | 18 |
| ワイヤレス (2.4G) 伝送 | 18 |
| GODOX FT433 機能の使用 | 21 |
| 発光モード | 22 |
| モデリングランプ | 22 |
| MENU メニュー設定 | 23 |
| シンクロ端子トリガー | 24 |
| 保護機能 | 24 |
| Godox 2.4G ワイヤレス誤発光の原因および解決方法 | 26 |
| 仕様・仕様パラメータ | 27 |
| ファームウェアアップグレード | 28 |

はじめに

AD800Pro 一体型屋外用ストロボは、ワイヤレス TTL 高出力ストロボであり、取り外し可能なリチウムイオンバッテリーを採用し、携帯に便利です。

内蔵された Godox 2.4G ワイヤレス X システムにより、XPro、XPro II、X2T、X3 シリーズ トリガーと連携し、M/Multi/TTL モードで AD800Pro ストロボのリモート制御が可能です。さらに、Godox 製カメラ上部ストロボ、屋外用ストロボ、スタジオストロボと主従機能を利用した組み合わせ運用にも対応しています。AD800Pro ストロボを使用することで、より簡便な撮影体験が得られます。複雑な光環境下においても、自動で正確なフラッシュ露出を実現し、快適に撮影できます。AD800Pro ストロボは強力な出力と大容量バッテリーを備え、全シーンでの高速撮影に対応します。単体で太陽光を抑えることができ、外部フラッシュチューブと高効率リフレクターにより、屋外や実景撮影において優れた光質を提供します。AD800Pro はオフカメラストロボの中でも絶対的主力機種であり、携帯性と高品位な光質を両立しています。フリーランスの商業フォトグラファー、報道記者、ハイアマチュア、写真愛好家、ウェディングドキュメンタリー撮影者などにとって理想的な光源です。

主な特長

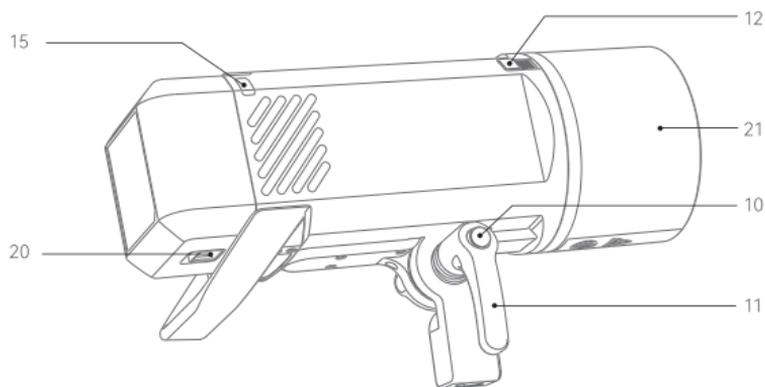
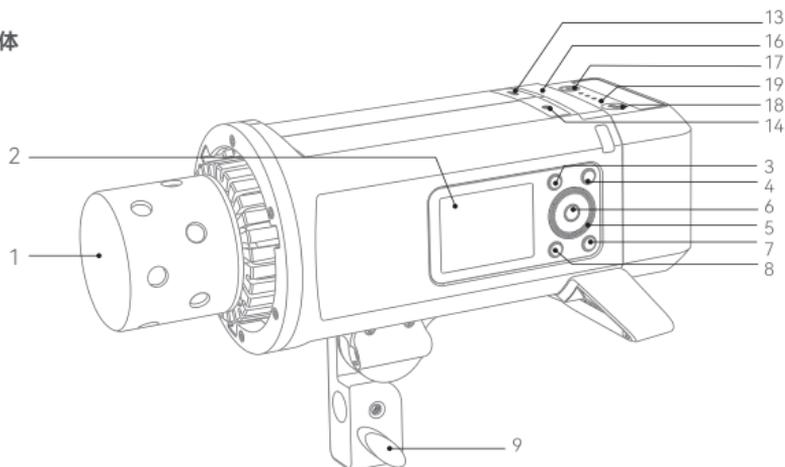
- **充電復帰時間:** 約 0.01 秒（最低出力）～ 1.5 秒（全出力）。
- **固定色温度モード:** 起動時、すべての出力範囲で色温度の変動を $\pm 100\text{K}$ 以内に制御します。
- **LED モデリングランプ:** 40W の高出力 2 色 LED モデリングランプ。明るさと色温度を自由に調整可能です。
- **スタジオクオリティ:** 最大出力 800Ws、フルパワーで約 300 回の発光が可能。1/8000 秒のハイスピードシンクロにも対応。
- **精密な調光:** 1/512 ~ 1/1 の範囲で出力を調整でき、各段階で 0.1 単位で微調整が可能。光効果を正確に制御できます。
- **全面的な互換性:** キヤノン、ニコン、富士、オリンパス、ソニー、ライカ、ペンタックスなど、各種カメラの M/Multi フラッシュシステムおよびワイヤレス TTL システムに完全対応しており、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのスレーブとしてご使用いただけます。
- **ワイヤレス制御:** 2.4G ワイヤレス X システムを内蔵し、別売の GODOX トリガーによる遠隔操作が可能です。また、3.5mm シンクロ端子も装備しており、さまざまな同期発光方式に対応します。
- **直感的な表示:** 各グループインジケータに個別のカラーを採用し、16 色の切り替えによって、カメラから離れた状態でも画面を見ずに現在のグループを識別できます。
- **利便性の高い操作:** 2.8 インチのカラーディスプレイを搭載し、スムーズな無段階調整が可能な回転ダイヤルを備えています。分割式の本体設計により、フラッシュチューブとバッテリーを個別に取り外し、分類して収納できます。
- **豊富な付属品:** ポーエンスマウントを採用し、幅広い用途に対応可能。多様な光効果アクセサリーとの組み合わせにより、実用性が向上しています。

注: 1. 最速リサイクル時間は、GODOX 社ラボのテスト結果に基づいています。高強度の連続発光時には、システムが安全な放熱のため自動的にリサイクル時間を延長します。これは正常な保護機能です。機器の温度が下がり次第、最大リサイクル速度に復帰します。

2. 発光回数は神牛実験室のテスト結果に基づいています。実際の発光回数は、バッテリーの状態、周囲温度、使用習慣によって異なる場合があります。

部品名称

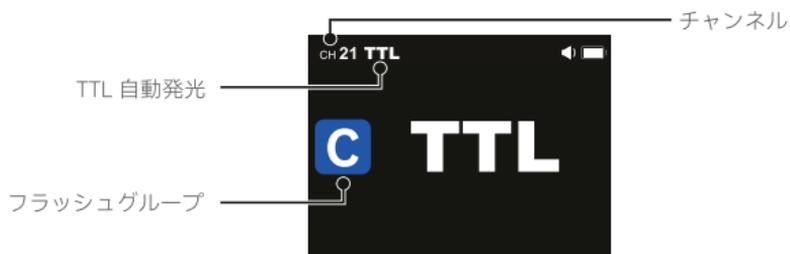
本体



- | | | |
|----------------|---|------------------|
| 1. フラッシュチューブ | 10. ハンドル固定部 | 16. 光検知センサー |
| 2. カラーディスプレイ | 11. ハンドル | 17. バッテリー残量ボタン |
| 3. MENU ボタン | 12. バヨネットマウントロック | 18. バッテリー充電端子 |
| 4. MODE ボタン | 13. USB-C 端子(ファームウェア アップグレード / FR433 レ シーバー接続用) | 19. バッテリー残量表示灯 |
| 5. 調整ダイヤル | 14. 3.5mm シンクロ端子 | 20. バッテリー取り外しレバー |
| 6. SET ボタン | 15. グループインジケーター ×2 | 21. アンブレラ用リフレクター |
| 7. 電源 / テストボタン | | |
| 8. モデリングランプボタン | | |
| 9. スタンドロックノブ | | |

ディスプレイ

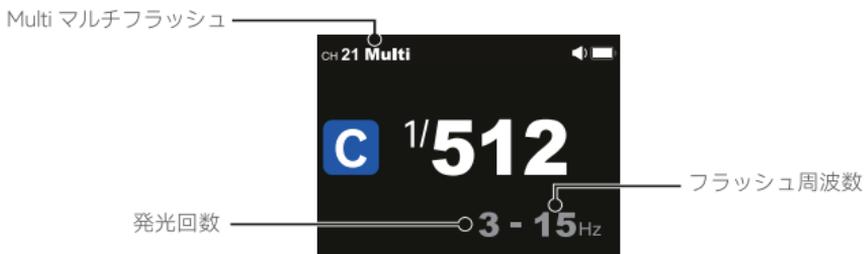
(1) TTL 自動発光 (ワイヤレスモード時有効)



(2) M マニュアル発光



(3) Multi マルチフラッシュ



同梱品一覧



本体 × 1



フラッシュチューブ × 1



バッテリー × 1



充電器 × 1



電源コード × 1



リフレクター保護キャップ × 1



アンブレラ用リフレクター × 1



取扱説明書 × 1

別売付属品

神牛の豊富なアクセサリシステムと組み合わせることで、最適な撮影効果および体験を得ることが可能です。

ヘッド: H600P ポータブルヘッド。

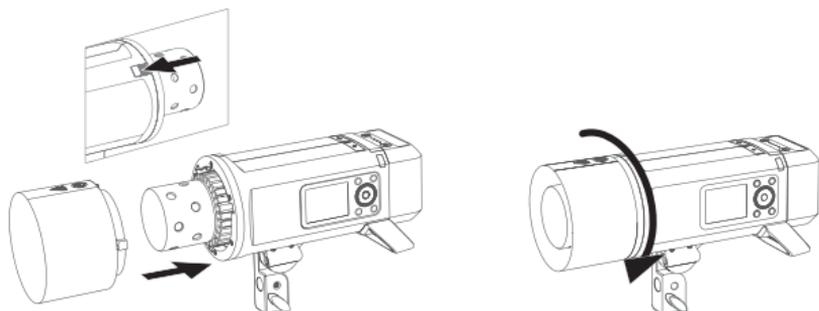
電源: AC26 交流電源、UC46USB 充電器。

トリガー: XPro、XPro II、X2T、X3 シリーズ。

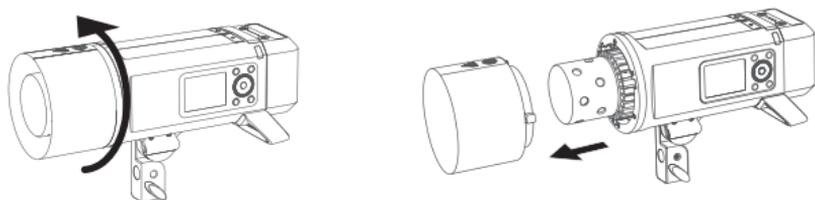
光学アクセサリ: 傘式クイックソフトボックス、球形ランタンソフトボックス、クイックパラボリックソフトボックス、リフレクター、折りたたみ式ソフトアンブレラ、スヌートおよびライトスタンドなど。

リフレクター/フラッシュチューブの着脱

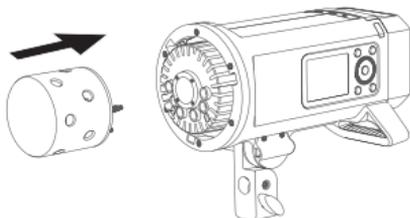
リフレクターの取り付け: リフレクターをバヨネットマウントに合わせて差し込み、押さえながら時計回りに回すと、バヨネットマウントロックが自動的にロックされます。



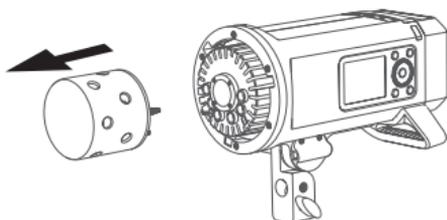
リフレクターの取り外し: バヨネットマウントロックを押さえ、リフレクターを反時計回りに回してロックを解除してください。



フラッシュチューブの取り付け: バヨネットマウントロックを押さえ、リフレクターや他の付属品を取り外した後、フラッシュチューブをストロボのソケットに合わせて差し込んでください。



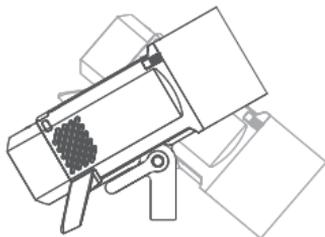
フラッシュチューブの取り外し: バヨネットマウントロックを押さえ、リフレクターや他の付属品を取り外した後、フラッシュチューブをしっかり持ち、平行に引き抜いてください。



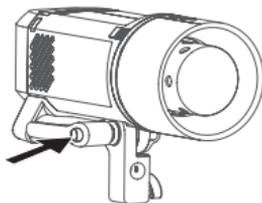
注: フラッシュチューブの装着・取り外し時には、必ず電源を切り、絶縁手袋を着用して作業してください。安全のため厳守してください。

ストロボ角度の調整

1. ハンドルを反時計回りに回してロックを解除し、本体の角度を調整した後、ハンドルを時計回りに回してロックして固定してください。

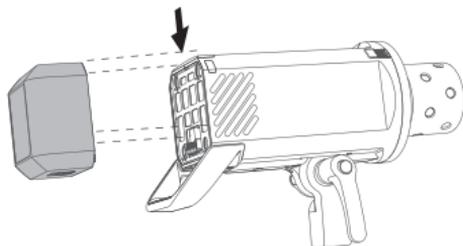


2. ハンドルを回す際に灯体に干渉する場合は、ハンドル固定部を押さえながらハンドルを引き抜き、距離を広げた後、引き続き上記の操作1を行ってください。

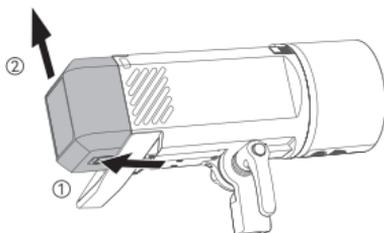


バッテリーの着脱

1. 取付: バッテリー挿入口と本体のバッテリースロットを合わせ、下方向に押し込んでロックされるまで装着してください。



2. 取り外し: バッテリー取り外しレバーを外側に引きながら、バッテリーを上方向に押し出してバッテリー挿入口から取り外してください。



バッテリー残量表示

バッテリーを正しく取り付けることでストロボに電力を供給できます。バッテリー残量ボタンを短押しすると、残量表示ランプが点灯し、現在のバッテリー残量を確認できます。詳細は以下の表をご参照ください。

| バッテリー残量表示ランプ (無負荷時におけるバッテリー残量の表示および管理) | 意味 |
|---|---|
| 1 赤 + 3 緑 | 75% ~ 100% |
| 1 赤 + 2 緑 | 50% ~ 75% |
| 1 赤 + 1 緑 | 25% ~ 50% |
| 1 赤 | 3% ~ 25% |
| 2% 赤色ランプが点滅します。 1% インジケータランプが点灯しません。 | < 2% バッテリー残量が間もなく無くなります。この状態ではストロボの動作はサポートされません。作動 1 分前に警告が表示され、3 分後に自動電源オフとなります。 注: 此状態请尽快 (10 天内) 充電, 才可使用或放置。 |

注: 表示は基本的に一致しますが、段階が切り替わる際に若干の差異が生じます。

バッテリーに関するご案内

特性

1. 本製品はリチウムイオンバッテリーを採用しており、300回の繰り返し充放電に対応し、長寿命です。
2. 安全で信頼性が高く、内蔵回路には過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護機能が備わっています。
3. 標準付属のバッテリー充電器を使用した場合、バッテリーの低電量から満充電までの充電時間は約2時間です。

注意事項

- プラス極とマイナス極の短絡を避けてください。
- バッテリーは防水機能を備えていないため、霧や水中に浸さないでください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- バッテリーの充電を8時間以上行わないでください。
- バッテリーは涼しく乾燥した換気の良い場所で保管してください。
- バッテリーを火の近くや火中に置かないでください。
- 使用済みのバッテリーは、必ず地域の規定に従って廃棄してください。
- バッテリーを3ヶ月以上使用しない場合は、満充電して保管してください。

バッテリーの活性化

AD800Pro バッテリーの仕様により、1ヶ月以上使用しない場合、自動的にスリープモードに入ります。1ヶ月後に再びバッテリーを使用または充電する場合は、バッテリーを起動してください。起動方法: バッテリー残量表示ボタンを短く押すことで起動されます。

電源のオン/オフ

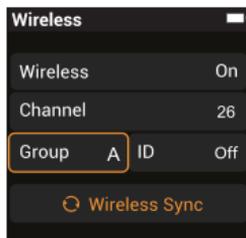
1. 電源スイッチを長押しすると、画面にロック解除アイコン（）が表示され、その後ダイヤルを時計回りに回すことで起動します。
2. 電源スイッチを長押しし、画面が消灯すると電源オフが完了します。

注: 長時間で使用にならない場合は、必ず電源をお切りください。本製品には電源自動電源オフ機能が搭載されており、メニューから自動電源オフ機能の設定が可能です。

TTL: 自動発光

TTL モードでは、カメラの測光システムが被写体から反射されたストロボ光を検出し、自動的にフラッシュ出力を調整することで、被写体と背景の露出がバランスよくなります。

注意: ワイヤレスモード時のみ TTL が利用可能です。



ワイヤレスの有効化: MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、回転ダイヤルで「ワイヤレス」を選択し、SET ボタンを短押しして設定画面に入ります。ワイヤレス機能を有効にし、チャンネル、グループ、および識別 ID をマスターと同一に設定してください。設定が完了したら、MENU ボタンを 2 回短押ししてメイン画面に戻ります。

TTL モードの切り替え: MODE ボタンを短押しして TTL/M/Multi 発光モードを切り替えます。画面左上に < TTL > が表示されている場合、ストロボは TTL 自動発光モードになります。



M: マニュアル発光

1/512 出力から 1/1 全出力まで、0.1 ステップ単位でフラッシュ出力を設定できます。正確なフラッシュ露光を得るため、ハンドヘルド露出計を使用して必要なフラッシュ出力をご確認ください。

M モードの切り替え: MODE ボタンを短押しして発光モードを切り替えます。画面左上に <M> が表示されている場合、ストロボは M マニュアル発光モードになります。

出力調整: このモードでは、回転ダイヤルでフラッシュ出力を調整します。出力を調整します。



フラッシュ出力を表示

撮影中にフラッシュ出力を変更する際、下表にて絞り値がどのように変動するかを明確に確認できます。フラッシュ出力の増減時に絞り値の変化パターンをご覧いただけます。回転ダイヤルを時計回りに回すとフラッシュ出力が増加し、反時計回りに回すと出力が減少します。

| | |
|-------|-------------------|
| 1/512 | 1/512 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/256 | 1/256 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/128 | 1/128 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/64 | 1/64 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/32 | 1/32 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/16 | 1/16 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/8 | 1/8 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/4 | 1/4 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/2 | 1/2 (0.1 ~ 0.9) |
| 1/1 | (全出力) |

光同期トリガーモード (S1/S2)

MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、回転ダイヤルで「光同期トリガー」を選択し、SET ボタンを短押しして設定画面に入ります。回転ダイヤルで「オフ」/「S1」/「S2」を切り替えることができます。

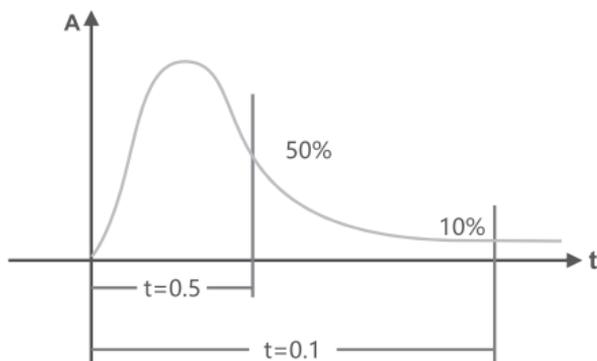
・**S1モード**: ストロボはスレーブとして使用でき、多様な照明効果を生み出し、マニュアル発光環境に適しています。これはメインストロボの最初の発光と同期して発光し、ワイヤレストリガーを使用した場合と同等の効果があります。

・**S2モード (プリ発光防止)**: ストロボはスレーブとして使用でき、TTL発光環境に適しています。プリフラッシュ防止機能を搭載、プリ発光付きカメラでも光同期撮影が可能です。これはメイン灯のTTLプリ発光を無視し、2回目のメイン発光に同期してトリガーされます。すなわち、2回の光同期トリガーとなります。

注: S1/S2光同期トリガーモードは、Mモードでのみご利用いただけます。

発光持続時間

発光持続時間とは、ストロボが発光を開始してから発光半峰值に到達するまでの時間を指します。半峰值は $t=0.5$ で示されます。より詳細な撮影数値を提供するために、本製品では $t=0.1$ を採用しています。 $t=0.5$ と $t=0.1$ の違いを下図でご確認ください。



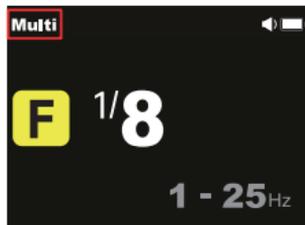
注: Mモードかつハイスピードシンクロがオフの場合のみ、発光持続時間が表示されます。



Multi: マルチフラッシュ

マルチフラッシュを使用することで、一連の高速な発光により、一枚の写真で動体の複数の像を撮影できます。以下の3つの手順で、順にフラッシュ出力、発光回数、フラッシュ周波数（毎秒の発光回数、Hz で表示）を設定します。

1. MODE ボタンを短く押してディスプレイに <Multi> を表示し、ダイヤルを回してフラッシュ出力を設定します。
2. SET ボタンを短く押し、回転ダイヤルで発光回数を設定してください。
3. SET ボタンを短く押し、回転ダイヤルでフラッシュ周波数を設定してください。



シャッタースピードの計算

マルチフラッシュ動作中は、発光が終了するまでシャッターを開放し続けてください。下記の式でシャッタースピードを計算し、カメラに設定してください。

発光回数 / フラッシュ周波数 = シャッタースピード。

例えば、発光回数が10回、フラッシュ周波数が5Hzの場合、シャッタースピードは最低でも2秒でなければなりません。

注:

- 反射率の高い被写体は、暗い背景でマルチフラッシュを使用することで、より効果的に撮影できます。
- 三脚および TTL トリガーのご使用を推奨いたします。
- フラッシュ出力が 1/1 または 1/2 の場合、マルチフラッシュの設定はできません。
- マルチフラッシュ時にも「buLb」をご利用いただけます。

最大マルチフラッシュ回数

| フラッシュ出力 \ Hz | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6-7 | 8-9 | 10 | 11 | 12-14 | 15-19 | 20-50 | 60-100 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|-------|-------|--------|
| 1/4 | 5 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 1/8 | 20 | 15 | 12 | 10 | 8 | 6 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 1/16 | 30 | 30 | 30 | 20 | 20 | 20 | 10 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 1/32 | 60 | 60 | 60 | 50 | 50 | 40 | 30 | 20 | 20 | 20 | 18 | 16 | 12 |
| 1/64 | 90 | 90 | 90 | 80 | 80 | 70 | 60 | 50 | 40 | 40 | 35 | 30 | 20 |
| 1/128 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 90 | 80 | 70 | 70 | 60 | 50 | 40 | 40 |
| 1/256 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 90 | 80 | 70 | 70 | 60 | 50 | 40 | 40 |
| 1/512 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 90 | 80 | 70 | 70 | 60 | 50 | 40 | 40 |

高速シンクロ

高速シンクロ(HSS)を使用すると、すべてのシャッタースピードでストロボを同期してご使用いただけます。高速シンクロモードでは、絞り優先でポートレートを撮影する際の補助発光に特に便利です。

MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、回転ダイヤルで「高速シンクロ」を選択し、SET ボタンを短押しして回転ダイヤルでオンまたはオフを選択します。設定完了後、MENU ボタンを短押ししてメイン画面に戻ると、上部ステータスバーに(高速シンクロ)が表示されます。



- 注:
- シャッタースピードがカメラの最大フラッシュシンクロ速度と等しいかそれより遅い場合、ファインダー内に <高速シンクロ> アイコンは表示されません。
 - 高速シンクロを使用する場合、シャッタースピードが速くなるほど、有効なフラッシュ範囲は狭くなります。
 - 通常の閃光に戻すには、メニューから高速シンクロ機能をオフにしてください。メイン画面から <高速シンクロ> アイコンが消えます。
 - 高速シンクロモードでは、マルチフラッシュの設定はできません。
 - 高速シンクロで連続して 64 回発光した場合、ストロボの過熱保護機能が作動する可能性があります。

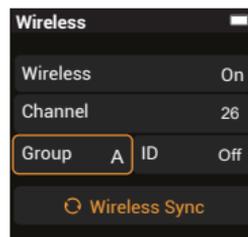
ワイヤレス (2.4G) 伝送

AD800Pro は 2.4G ワイヤレス X システムを搭載しており、当社の他のモデルと完全に連携して使用できます。スリープとして対応可能なカメラは、キャノン、ニコン、ソニー、オリンパス、パナソニック、富士、ペンタックス、ライカ等であり、マスターと連動するため、手動設定は不要です。

AD800Pro はスリーブとして、ワイヤレス送信機能を備えたマスターから制御可能です。対応機種は以下の通りです。XPRO II シリーズ / X3 シリーズ / X2T シリーズ / V1Pro シリーズ / V1 シリーズ / V860 III シリーズ等。

ワイヤレス設定

MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、回転ダイヤルで「ワイヤレス」を選択します。SET ボタンを短押しし、回転ダイヤルでワイヤレスの ON/OFF / チャンネル / グループ / 識別 ID / ワイヤレス同期から選択できます。いずれかを設定した後、MENU ボタンを 2 回短押ししてメイン画面に戻ります。



パラメータの設定

撮影現場で複数のワイヤレスストロボシステムを使用する場合は、チャンネルを変更するか、識別 ID を設定することで信号干渉を防ぐことができます。マスターとスリーブは同じチャンネル番号に設定してください。

| | |
|---------|----------------------|
| ワイヤレス | オン / オフ |
| チャンネル | 1-32 |
| グループ | 0-9、A-F |
| 識別 ID | オフ、1 ~ 99 |
| ワイヤレス同期 | 約 100 メートルのワイヤレス伝送距離 |

ワイヤレス同期機能を備えていないトリガーを使用する場合は、チャンネル、グループ、および識別 ID を手動で設定できます。ワイヤレス同期機能を備えたトリガーを使用する場合は、ワンタッチでワイヤレス同期が可能です。

ワイヤレス同期 (X3 トリガーを例に)

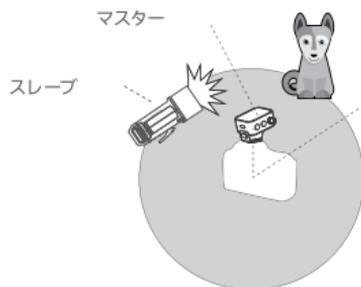
1. カメラの電源をオフにし、トリガーをカメラのホットシューに装着し、トリガーの電源スイッチおよびカメラの電源をオンにしてください。
2. トリガー X3 の設定: 画面上部から下方向にスワイプして < 設定 > を表示し、< 設定 > をタップしてカスタムメニューに入り、ワイヤレス設定をタップしてワイヤレス同期を選択します。
3. ストロボ AD800Pro の設定: MENU ボタンを短押ししてワイヤレスを選択し、ワイヤレス設定でワイヤレスをオンにします。ダイヤルを回してワイヤレス同期を選択し、SET ボタンを短押ししてワイヤレス同期を実行します。

- トリガー X3 およびストロボ AD800Pro は、自動的に同一の識別 ID およびチャンネルに設定されます。
- トリガー上でグループの発光モードまたは出力段階を設定します。
- トリガーの発光ボタン、またはカメラのシャッターボタンを押すことで発光を行います。

ワイヤレスストロボ撮影

位置調整および操作範囲 (ワイヤレスストロボ撮影の例)

- スレーブ 1 台を使用した自動ストロボ撮影



伝送距離: 約 100 メートル

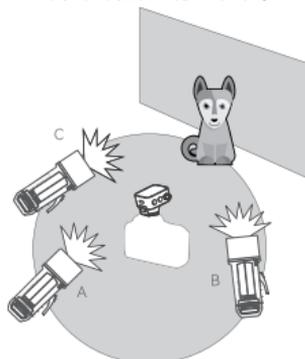
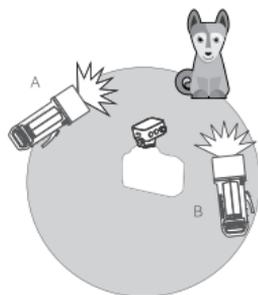
注:

- ワイヤレス送信機能を有するマスターを送信側として使用します。
- 撮影を開始する前に、テスト発光および試し撮影を行ってください。
- 位置、周囲の環境、天候状況などの影響により、伝送距離がさらに短くなる場合があります。
- マスター側でスレーブ発光をオフ (OFF) に設定することができます。

ワイヤレス多灯撮影

スレーブを 2 つまたは 3 つのグループに分割し、発光比を変更しながら TTL 自動発光撮影を行うことが可能です。さらに、各発光グループごとに異なる発光モードを設定して撮影できます。

- 2 つのスレーブグループを使用して自動発光撮影を行います。
- 3 つのスレーブグループを使用して自動発光撮影を行います。



GODOX FT433 機能の使用

より高い信号安定性と強力な耐干渉能力を実現し、ストロボの精密な制御を行うために、GodoxFT433 トリガーのご使用を推奨いたします。FT433 トリガーは【送信機 FT433】と【受信機 FR433】の2部構成で、内蔵の433MHz ワイヤレスモジュールにより、伝送距離を延長しつつ、耐干渉性を大幅に向上させ、安定で精密な撮影体験を提供します。FT433 トリガーは、キヤノン、ニコン、ソニー製ホットシュー搭載カメラに対応し、AD800Pro、AD100Pro II、AD200Pro II、AD400Pro II、AD600Pro II、AD600BM IIなどのGodoxの新しい第2世代ストロボに適用可能です。

使用方法:

1. トリガー、カメラ、およびストロボの電源を切った上で、送信機 FT433 をカメラのホットシューに装着し、受信機 FR433 を AD800Pro 本体の USB-C アップグレード端子に接続してください。また、送信機と受信機の上部にあるアンテナを回して引き出してください。その後、トリガー、カメラ、およびストロボの電源をすべてオンにしてください。
2. FT433 の設定方法: MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、<(☉)> を選択後、SET ボタンを短押ししてチャンネルと識別 ID を設定してください。設定が完了したら、MENU ボタンを短押ししてメイン画面に戻ってください。MODE・LOCK ボタンを短押ししてトリガーモードを設定し、回転ダイヤルを操作してトリガーの段階パラメーターを調整してください。
3. AD800Pro の設定: MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、回転ダイヤルで「ワイヤレス」を選択し、SET ボタンを押して決定します。トリガーと同じチャンネル、グループ、識別 ID を設定してください。
4. カメラのシャッターを押すと発光し、トリガーの状態表示灯が赤色に点滅します。

注: FT433 トリガーは別売です。

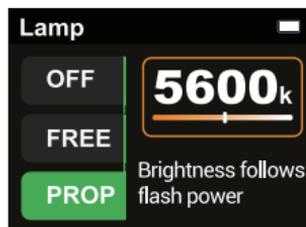
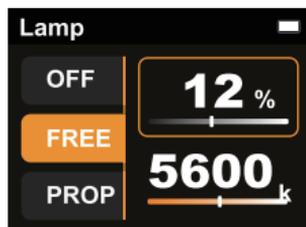
発光モード

MENU ボタンを短押ししてメニューに入り、回転ダイヤルで「発光モード」を選択し、SET ボタンを短押し後、回転ダイヤルで「標準 / 色温度 / フリーズ」から選択できます。

| | |
|------|---|
| 標準 | 標準発光の場合、メイン画面にインジケーターは表示されません。 |
| 色温度 | 色温度が固定されており、起動後メイン画面にアイコン (C) が表示され、グループインジケーターが点滅します。プザーが有効な場合は 1 分間鳴動します。この際、必ずテストボタンを押して放電し、その後通常通りご使用ください。M モードかつハイスピードシンクロではない場合のみ有効です。全段階で色温度の変動は ±100K 程度です。 |
| フリーズ | フリーズモードは、起動後メイン画面にアイコン (F) が表示されます。標準モードより発光時間が短く、出力も少なくなります。M モードおよび Multi モードでのみ利用可能です。 |

モデリングランプ

AD800Pro は、40W の二色温度高出力 LED モデリングランプを搭載しています。モデリングランプボタンを短押しすると造形灯の設定に入り、回転ダイヤルで「オフ / オン / 連動」から選択できます。SET ボタンを短押しし、回転ダイヤルを操作することで、さらに多くのパラメータを調整できます。その他設定の詳細は下表をご参照ください。



| 造形灯設定 | | |
|---------|-----------------------|--|
| 一次オプション | 二次オプション | 説明 |
| OFF | なし | 造形灯をオフにする |
| FREE | 10%-100% (1% 刻み) | 輝度範囲 |
| | 2800K-6000K (100K 刻み) | 色温度範囲 |
| PROP | 2800K-6000K (100K 刻み) | 色温度範囲: この項目を選択した場合、輝度設定は不要です。輝度はストロボの出力変化に連動して変化します。 |

MENU メニュー設定

| アイコン | 機能 | オプション | 説明 |
|---|------------|-------------|--|
|  | Wireless | Off | ワイヤレス設定をオフにする |
| | | On | ワイヤレス受信をオンにする |
|  | Flash Mode | Normal | 標準ストロボ発光 |
| | | Color | M モード(ハイスピードシンクロ無効時)で使用可能 |
| | | Freeze | M モードおよび Multi モードで使用可能 |
|  | Photocell | Off | 光同期トリガーをオフにする |
| | | S1 | M モードおよび TTL モードで使用可能 |
| | | S2 | |
|  | HSS | Off | ハイスピードシンクロをオフにする |
| | | On | M モードおよび TTL モードで使用可能 |
|  | Model | Inter | ストロボ発光時に造型灯は自動消灯します |
| | | Cont | ストロボ発光時に造型灯が点灯し続けます |
|  | Beep | Off | ブザーオフ |
| | | On | ブザーオン |
|  | Type | 1/512 | ストロボ出力段階は 1/512 ~ 1/1 で表示されます |
| | | 1.0 | ハイスピードシンクロ無効時は 1.0 ~ 10.0 の出力段階が表示されます |
|  | Standby | 30sec | 30 秒以上操作がない場合、ディスプレイはスリープモードに移行します |
| | | 1min | 1 分以上操作がない場合、ディスプレイはスリープモードに移行します |
| | | 2min | 2 分以上操作がない場合、ディスプレイはスリープモードに移行します |
| | | 3min | 3 分以上操作がない場合、ディスプレイはスリープモードに移行します |
|  | Auto Off | Off | 自動電源オフをオフにする |
| | | 30min | 30 分後に自動電源オフ |
| | | 60min | 60 分後に自動電源オフ |
| | | 90min | 90 分後に自動電源オフ |
| | | 120min | 120 分後に自動電源オフ |
|  | Brightness | 20%-100% | 回転ダイヤルで輝度値を設定します |
|  | Delay | Off | 遅延フラッシュをオフにします |
| | | 0.01s-30.0s | 遅延フラッシュ時間 |

| アイコン | 機能 | オプション | 説明 |
|--|-------------|---------|--|
|  | Mask | 2Mask | 発光マスクと発光順序は組み合わせてご利用ください。発光マスクは総発光回数を、発光順序は n 回目の発光を指定します。例: 発光マスクで 3、発光順序で 1 を選択した場合、3 回の発光のうち 1 回目のみ発光します。 |
| | | 3Alt | |
| | | 4Alt | |
|  | Language | Chinese | 画面表示言語は簡体中国語で表示 |
| | | English | されず画面表示言語は English で表示されます |
|  | Reset | Yes | 工場出荷時設定にリセット |
| | | No | 工場出荷時設定へのリセットをキャンセル |
|  | Device Info | なし | 現在の機種およびバージョン番号を確認 |

シンクロ端子トリガー

シンクロの規格は $\Phi 3.5\text{mm}$ です。ここにシンクロケーブルまたはトリガーの接続プラグを挿入することで、ストロボの同期発光が可能です。

保護機能

1. 過熱保護

- ストロボヘッドの過熱や損傷を防止するため、1/1 出力で 64 回を超える高速連続発光は行わないでください。64 回の連続発光後は、ストロボを少なくとも 10 分間冷却してください。
- 64 回を超える連続発光の後、直ちにさらに発光を行った場合、内部の過熱保護機能が作動し、充電復帰時間が 10 秒以上になることがあります。この現象が発生した場合は、ストロボを約 10 分間冷却してください。冷却後、ストロボは正常に動作を再開します。
- 過熱保護が作動すると、ディスプレイ上に記号 < が表示されます <  >。

過熱保護機能が作動する連続発光回数:

| 出力 | 回数 |
|--------------------|------|
| 1/1 | 80 |
| 1/2 (+0.7) | 105 |
| 1/2 (+0.3) | 128 |
| 1/2 | 160 |
| 1/4 (+0.3, +0.7) | 210 |
| 1/8 (+0.3, +0.7) | 375 |
| 1/16 (+0.3, +0.7) | 800 |
| 1/32 (+0.3, +0.7) | 1060 |
| 1/64 (+0.3, +0.7) | |
| 1/128 (+0.3, +0.7) | |
| 1/256 (+0.3, +0.7) | 2130 |
| 1/512 (+0.3, +0.7) | |

ハイスピードシンクロモード時に過熱保護が作動するまでの連続発光回数:

| 出力 | 回数 |
|--------------------|-----|
| 1/1 | 64 |
| 1/2 (+0.3, +0.7) | 70 |
| 1/4 (+0.3, +0.7) | 90 |
| 1/8 (+0.3, +0.7) | 115 |
| 1/16 (+0.3, +0.7) | 140 |
| 1/32 (+0.3, +0.7) | 180 |
| 1/64 (+0.3, +0.7) | 210 |
| 1/128 (+0.3, +0.7) | 235 |
| 1/256 (+0.3, +0.7) | 255 |

2. その他の保護

機器の安全な運用を確保するため、システムは常に予防保護を行っています。以下の表示記号をご参照ください。

| 画面表示 | 警告内容 |
|------|--|
| エラー | ストロボ充電システムに問題が発生し、充電およびトリガーができません。再起動してください。解決しない場合は修理を依頼してください。 |
| エラー | フラッシュチューブ両端の電圧が異常に高くなっています。修理を依頼してください。 |
| エラー | ファームウェアアップグレードに誤りがあります。正しい手順でファームウェアアップグレードを行ってください。 |

Godox 2.4G ワイヤレス誤発光の原因および解決方法

1. 外部環境による 2.4G 信号の干渉 (例: ワイヤレス基地局、2.4G Wi-Fi ルーター、Bluetooth 機器等)

→トリガーのチャンネル(CH) 設定を調整してください (+10 を推奨)。干渉のないチャンネルを選択するか、動作時に他の 2.4G 機器の電源を切ってください。

2. ストロボが既に充電されているか、または充電速度が連写速度に追いついているかを確認してください。また、過熱保護やその他の異常状態でないことをご確認ください。

→ストロボの出力段階を下げてください。TTL モードの場合は M モードに切り替えてお試しください (TTL モードではプリ発光が一度必要です)。

3. トリガーとストロボの距離が近すぎているか (距離 <0.5m)。

→トリガーで「近距離モード」を有効にしてください。

X1 シリーズ: トリガーボタンを押し続けたまま電源を入れ、インジケーターが 2 回点滅するまでお待ちください。

Xpro、X2T シリーズ: C.Fn-DIST を 0 ~ 30m に設定してください。

X3 シリーズ: トリガーの動作距離を 0 ~ 30m に設定してください。

4. トリガーおよび受信端機器が低バッテリー状態かどうか。

→バッテリーを交換または充電し、トリガーおよびストロボ機器の電力が十分であることを確認してください。

5. トリガーのファームウェアバージョンが旧バージョンである。

→トリガーのファームウェアをアップグレードしてください。アップグレード手順はトリガーの取扱説明書をご参照ください。

6. カメラのファームウェアバージョンが旧バージョンである。

→カメラのファームウェアをアップグレードしてください。アップグレード手順はカメラの取扱説明書をご参照ください。

仕様・仕様パラメータ

| | |
|----------------------------------|--|
| 型号 | AD800Pro |
| ワイヤレススレープモード | ワイヤレスモード (キャノン E-TTL II、ニコン i-TTL、ソニー、オリンパス、パナソニック、富士、ライカ、ペンタックス対応) |
| 発光モード | ワイヤレスオフ: M/Multi ワイヤレススレープモード: TTL/M/Multi |
| ガイドナンバー (1/1 段階) | 110 (ISO 100、メートル単位、高効率リフレクター使用時) |
| 発光持続時間 (t=0.1) | 標準: 1/350 秒 ~ 1/11400 秒 色温度: 1/350 秒 ~ 1/9220 秒 フリーズ: 1/5020 秒 ~ 1/35710 秒 |
| 出力 (1/1 段階) | 800Ws |
| 段階 | 10 段階: 1/512 ~ 1/1 (各段階で 0.1 単位の微調整が可能) 注: 色温度モード時は 9 段階 |
| マルチフラッシュ | 搭載 (回数: 100 回、周波数: 100Hz) |
| 同期方式 | ハイスピードシンクロ (最高 1/8000 秒)、フロントカーテンシンクロ、リアカーテンシンクロ |
| 遅延発光 | 0.01 ~ 30 秒 |
| マスク | ✓ |
| ファン | ✓ |
| ブザー | ✓ |
| 発光持続時間表示 | ✓ |
| 光同期トリガー | S1/S2/OFF |
| 表示 | カラーディスプレイ |
| モデリングランプ | |
| 最大入力出力 | 40W |
| 輝度調節範囲 | 10%-100% |
| CRI | 平均≥ 97 |
| TLCI | 平均≥ 98 |
| CCT | 2800K-6000K |
| ワイヤレスフラッシュ (2.4G ワイヤレス機能) | |
| ワイヤレス機能 | スレープ/オフ |
| 制御可能スレープ | 16 組: 0-9、A-F |
| 伝送距離 | 約 100 メートル |
| チャンネル | 32 組: 1-32 |
| 識別 ID | 01-99/OFF |

| 電源 | |
|------------------------------------|---|
| 電源 | リチウムイオンバッテリー (28.8V/2900mAh) |
| 全出力発光回数 | 約 300 回 |
| 充電復帰時間 | 最速充電時間: 約 0.01 ~ 1.5 秒 |
| バッテリー残量表示ランプ | √ |
| 省エネ | ストロボは無操作状態が 30 分 ~ 120 分継続した場合、自動的に電源をオフにする設定が可能です。 |
| 同期発光方式 | 3.5mm シンクロケーブル |
| フラッシュチューブ色温度 | 5800±200K |
| 寸法および重量 | |
| 寸法 (バッテリー含む、フラッシュチューブ・リフレクター除く) | 137mm×155mm×228mm |
| ネット重量 (バッテリー含む、フラッシュチューブ・リフレクター除く) | ≈ 3.2kg |

技術仕様等につきましては、予告なく変更される場合があります。

ファームウェアアップグレード

- 本機は USB-C アップグレード端子を通じてファームウェアのアップグレードが可能です。ソフトウェアの最新情報および説明は公式ウェブサイトでご案内します。
- 本製品の USB 端子は USB Type-C 端子です。USB Type-C データケーブルをご使用ください。
- 製品のファームウェアアップグレードには Godox G3 V2.0 プログラムソフトウェアが必要です。アップグレードの前に、必ず「Godox G3 V2.0 ファームウェアアップグレードソフトウェア」をダウンロードおよびインストールし、対応するファームウェアファイルを選択してください。
- 製品のファームウェアアップグレードにより、取扱説明書は最新の電子版をご参照ください。
- Godox G3 V2.0 ファームウェアアップグレードソフトウェアのダウンロードアドレス：
<https://www.godox.com.cn/firmware-G3/>

製品保証

お客様へ、本保証書は保証サービスを申請する際の重要な証明となります。販売店と共にご記入の上、大切に保管してください。ありがとうございます。

| | | |
|--------|--------|---------|
| 製品情報 | 型番 | 製品バーコード |
| ユーザー情報 | 氏名 | 連絡電話番号 |
| | 連絡先住所 | |
| 販売店情報 | 名称 | |
| | 連絡電話番号 | |
| | 連絡先住所 | |
| | 販売日 | |
| 備考 | | |

注：本表は販売店の押印により確認されるものとします。

製品情報

本書類は、関連する《製品保証情報》（後述）に記載された製品に適用され、それ以外の製品や部品（例：キャンペーン品、景品、および出荷後に追加された部品等）は本保証の対象外となります。

保証期間

製品および部品の保証期間は、関連する《製品保証情報》に基づき実施されます。保証期間は製品の初回購入日より起算し、購入日は保証カードへの記載日に準じます。

保証サービスの受け方

お客様は製品の販売店または認定サービス機関に直接ご連絡いただくか、神牛製品アフターサービス電話までご連絡ください。弊社サービス担当者が対応いたします。保証申請の際は、有効な保証カードを保証の証明としてご提示いただく必要があります。それによって保証を受けることができます。有効な保証カードをご提示いただけない場合でも、当社が製品または部品が保証対象であると確認できた場合には、保証サービスを提供できます。ただし、これは義務ではありません。

保証適用外の状況

製品が下記のいずれかに該当する場合、本書に基づく保証およびサービスは適用されません。①製品または部品が保証期間を超過している場合；②誤ったまたは不適切な使用、保守、保管によって発生した故障や損傷（例：不適切な搬送、製品の本来の用途以外での使用、不適切な機器の接続、落下や衝撃など）；不適切な温度、薬品、酸・アルカリ、水没または多湿環境への接触または曝露。③GODOXの許可を受けていない機関または個人による設置、修理、改造、追加、または分解によって生じた故障または損傷。④製品または部品本来の識別情報が改ざん、変更、または削除された場合。⑤有効な保証書がない場合。⑥正式な認可、標準、または公開されていないソフトウェアの使用による故障または損傷。⑦不可抗力または偶発的な事象による故障または損傷。⑧その他、製品の品質問題によらない故障または損傷。上記の状況が発生した場合は、関係する責任者に解決を求めてください。神牛はこれに関して責任を負いません。保証対象外の部品、付属品、もしくはソフトウェアによって製品の正常な使用ができない場合は、保証対象外となります。製品の使用過程における通常の褪色、摩耗および消耗は、保証対象外となります。

製品保証およびサービスサポート情報

保証期間およびサービスの種類は、以下の《製品保証情報》に基づき実施されます。

| 製品カテゴリー | オプション品名 | 保証期間（月） | 保証サービス種類 |
|---------|---------------------------------|---------|----------|
| 部品 | 回路基板 | 12 | お客様送付修理 |
| | バッテリー | 3 | |
| | 充電器等の通電部品 | 12 | |
| その他 | 消耗品（フラッシュチューブ、モデリングランプ等）および外装部品 | なし | 保証なし |

神牛製品アフターサービス電話 0755-29609320-8062